

TOSHIBA

販売店・工事店さま用

東芝レンジフードファン取付説明書

形 VFR-63L タイプ, VFR-73L タイプ, VFR-93L タイプ
名 VFR-64L タイプ, VFR-74L タイプ, VFR-94L タイプ

●このレンジフードファンの注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくために、この取付説明書をよくお読みください。(形名により図が一部異なります。)

●この取付説明書は工事完了後、お客さまで保管いただくように依頼していただきます。

●別売部品をご利用ください。(詳しくは、カタログをご覧ください。)

●記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

日本国内専用品

Use only in Japan

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載しています。

表 示	表示の意味
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定される内容」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定される内容」を示します。

＊１:重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号	図記号の意味
⊘	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

- 取付工事完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、この取付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管いただくように依頼してください。

⚠警告			
⊘改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。	⚠給電を確実に	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据え付けるときは、十分な大きな空気取入口を別につける
⊘分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理(※)をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理は、お買上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにご連絡ください。	⚠確実に差し込む	電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災・感電の原因になります。
⚡アースを接続する	アースは、確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は、販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。	⊘使用禁止	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 火災・感電の原因になります。
⊘接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に、金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電したとき、火災・感電の原因になります。	⊘使用禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、束ねたりしない 電線に荷重をかけない 火災・感電の原因になります。
⊘取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。	⚠電源プラグに力をかけない	電源コードはゆとりを持たせ、電源プラグに力がかからないようにする また、つっぱらないようにゆとりを持たせて配線する 火災・感電の原因になります。
⚠交流100V使用	電源は交流 100 Vを使う 交流100V以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。	⚠ポリ袋破棄	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や、鼻をふさぎ窒息する原因になります。

⚠注意			
⚠確実に取りつける	前板・フィルターや部品は確実に取り付ける 落下により、けがの原因になります。	⊘使用禁止	浴室など湿気の多い場所では絶対に使わない 感電および故障の原因になります。
⚠確実に取りつける	強度のある場所に、確実に取り付ける 落下により、けがの原因になります。	⊘接触禁止	運転中は危険ですから羽根の中に指や物を入れない けがの原因になります。
⚠電気工事士が実施	電気工事・アース工事は、電気工事士（※）が行う 電気工事士以外の方が工事すると、火災・感電・けがの原因になります。 ※電気工事士への依頼は、お買上げの販売店、または電気工事店にご相談ください。	⚠手袋着用	取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。
		⊘使用禁止	指定以外のランプを使わない ランプカバー周辺が高温になり、やけどの原因になります。 また、火災・感電の原因になります。

お願い

- ガスレンジの真上、80cm以上に取り付けてください。
火災予防条例では、80cm以上が必要です。
- 周囲温度が40℃以上になる場所、薬品を使う場所には取り付けないでください。
故障の原因になります。
- 全体換気の必要な所は、他の換気扇との併用をおすすめします。
- 次のようなダクト工事はしないでください。
 - (1) 極端な曲げ
 - (2) 多数回の曲げ
 - (3) 接続ダクト径を極端に小さくする
 - (4) 吐出口のすぐそばでの曲げ
- 効率よく排気させるため空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。
- 取付工事は手袋をして行ってください。

各部のなまえ

付属品

木ねじ (6 本)	排気口	ねじ (4 本)	ソフトテープ
本体固定用		排気口固定用	排気口とダクトとのすき間ふさぎ用

製品寸法図

取付方法

取り付け前の準備

- (1) 製品寸法図を参照して、壁穴をあけてください。
- (2) 排気方向が後部、右側、左側の場合は、直角ジョイントRLJ-6(別売部品)をご使用願います。
- (3) ダクト (φ 150 スパイラルダクト) を下図の位置に配管します。

前板のはずし方

- (1) コネクターをはずします。ツメ部を押しながら手前に引きはずします。
- (2) 取付ねじ(左右2ヵ所)を4～5mmもどします。
- (3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を後方へ回します。
- (4) 前板を少し下げ、角穴をフックよりはずし、前へ引いてはずします。

排気部品の準備

上排気の場合	後部、右側、左側排気の場合
(1) 排気口に、付属のソフトテープを貼ります。 (2) 本体に排気口を付属のねじ(4本)で固定します。	(1) 排気口に付属のソフトテープを貼ります。 (2) 別売部品の直角ジョイントに付属のねじ(4本)で固定します。 (3) 本体に、直角ジョイントを付属のねじ(4本)で固定します。

ご注意

別売部品の直角ジョイントを使用しないで、排気口に直接ダクトを接続して後部、右側、左側排気する場合は、シャッターの開く向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異常音の原因になります。

本体の取り付け方

取り付けの前に取り付け部の強度をお確かめください。取り付け部が弱いと落下、振動、騒音の原因になります。

壁取り付けの場合

- (1) 製品寸法図を参照して、壁面に付属の木ねじ(2本)を図のように8mm締め付けを残して仮止めします。
- (2) 本体を木ねじに引掛けます。
- (3) 本体内側より付属の木ねじ(4本)を締め付け固定します。

天井取り付けの場合

- (1) 製品寸法図を参照して、天井にアンカーボルト(M10)を埋め込みます。
- (2) 本体の天井用穴(2ヵ所)のノックアウト部を打ち抜きます。
- (3) 市販のナット(M10)とワッシャー(M10用)にて、本体をアンカーボルトに固定します。
- (4) 本体内側より付属の木ねじ(2本)を締め付け壁に本体を固定します。

ダクト(パイプ)の取り付け方

排気口にダクトを接続し、市販のアルミテープなどで、風漏れのしないようテーピングします。

アースおよび電源の接続

- (1) 本体天面のアース端子を使用してアース工事します。
- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。

前幕板の取り付け方

- (1) 前幕板に固定している、ねじ(2本)を2～4mmもどします。
- (2) 本体前面より差し込みます。
- (3) 吊り戸棚の位置に合わせたら、本体下部よりドライバーでねじを固定します。

前板の取り付け方

前板のはずし方と逆の順序で行ってください。

- (1) 前板の上部を本体へ差し込みます。
- (2) 前板を、前へ押し固定します。
- (3) 着脱レバー(左右2ヵ所)を前方に回し、取付ねじを確実に溝に入れます。
- (4) 取付ねじ(左右2ヵ所)をドライバーで締めて固定します。
- (5) コネクターを取り付けます。
- (6) 手元へ、軽く引っ張り、前板の固定が確実か確かめます。
抜けてこなければ完了です。

グリスフィルターの取り付け方

形名でのフィルターの枚数	
VFR-63L, 64Lタイプ	VFR-73L, 74L, 93L, 94Lタイプ

試運転

以上で取り付け完了です。

- 次の点検を行い、異常がないか確認してください。
- 製品の取付強度が十分なこと
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと
- シャッターの開閉が正常なこと

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリ빙のBL保険制度により、保険金が支給されます。
- 一般財団法人ベターリ빙が認定したBLマークの付いた優良住宅部品については、万一当社または設置工事施工者が倒産などしている場合、当社などによる瑕疵保証責任などに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度や当住宅部品の施工要領の詳細については、一般財団法人ベターリ빙のホームページ (<http://www.cbl.or.jp/>) や当社のホームページをご覧ください。

ET9X46801-①